



# タマリユウ [玉竜]

常緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



**科名** キジカクシ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや遅い、矮性種

僅かな隙間でも生育し、芝生のように低く密なグラウンドカバーになる。丈夫で手間がかからないことから草目地によく利用される。この他、根締め、階段蹴上部のスリット部、目地植栽など適応範囲が広い。耐陰性が強く、寒さ、暑さ、潮風にも耐え、環境に幅広く適応する。



## Memo

タマリユウはリュウノヒゲ (ジャノヒゲ) の矮性品種。リュウノヒゲとよく間違えられる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期						■						
	果 実	■											■
	紅 葉												
	施 肥	(肥料は不要。土の少なくなった部分に目土をする)											
剪 定			■										

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壌	乾	○	○		湿
寒 さ	強	◎			弱
暑 さ	強	◎			弱
潮 風	強	◎			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

**ポイント** 日当りの良い場所では葉が密生するが、乾燥が続くと黄色く変色する。極端な乾燥や排水不良でなければ生育するが、草目地の場合、常時車の下になると枯れてくる。

**剪 定** 春先に古葉を切り取り、高さを揃えて刈り込むと、芝生のようにきれいに生え揃ってくる。草目地など狭い場所では土が少なくなならないよう目土をすると元気に育つ。

**病虫害** 最近、サビヒョウタンゾウムシの被害が目につく (元は野菜類の害虫)。幼虫は根を、成虫は葉を丸く食害する。対応策は土壌消毒と成虫の除去。成虫は飛翔能力がない。